

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 県北地区の取組を振り返って

県北教育事務所

県優秀作品

【絆部門】

佳作 ママの手は わたしをいやす まほうの手
娘の手 温もりくれる 充電器
佳作 一番の パワースポット 我が家です
星五つ 娘の評価に 母ハッピー

【ふるさと部門】

最優秀賞 富岡で 一緒に過ごす 夢かなう
桜咲き 家族が集う 避難元
最優秀賞 秋祭り みんなで輪になり オラドッコイ
安達太良の 秋空に舞う 囃子の音

<今年の応募作品の傾向>

○ 応募作品の中に多く出てきた言葉や雰囲気

- ・ 家で作ることが多くなった料理
- ・ 福島のおいしい野菜や果物
- ・ コロナ禍で祖父母に会えない寂しさ、リモートで会える嬉しさ
- ・ オリンピックの感動、福島で行われた野球・ソフトボール
- ・ 大きくなった自分の確認、子どもの成長
- ・ 震災から10年、浜通りのふるさとに寄せる想い



○ 作品のテーマや応募作品数

- ・ 保育所、幼稚園の皆さんは、お家の方のお手伝いを頑張った様子を作品にまとめてくれました。
- ・ 域内小学校の参加校数が過去最高で、**参加率は98.9%**でした。身近な人々との触れあいを大切に心温まる作品が多くみられました。
- ・ 中学生・高校生の皆さんは、部活動や受験勉強を友達と一緒に頑張ろうという思いや家族への感謝を若者らしい言葉で表現していました。

審査員の皆様からは、「年々、作品の質が上がっている」「自分の気持ちを素直に表現している」「親子で同じ言葉を使っても視点の違いがあって面白い」などの感想をいただきました。

今年度は、過去最高の応募数で5,549点の作品が寄せられました。

県北地区第一次審査を通過した作品277点を作品集にまとめましたので、ぜひご覧ください。

来年度のご参加もお待ちしております！

